

第1回 清瀬市地域づくり応援制度検討委員会 会議録

1 開催日時

令和5年11月1日（水）18時30分から19時30分まで

2 場所

清瀬市役所3階 会見室

3 会議内容

(1) 開会

(2) 挨拶

経営政策部長による挨拶を行った。

(3) 検討委員会の趣旨及び進め方

事務局から説明を行った。

(4) 自己紹介

各委員から自己紹介を行った。

(5) 委員長・副委員長選任

推薦により菱沼委員が委員長に決まった。

菱沼委員長からの指名により、浅見委員が副委員長に決まった。

(6) 委員会の公開について

事務局から委員会の公開について説明を行った。

委員の総意により本委員会が公開となることが決まった。

(7) 清瀬市における地域づくりの現状と課題について

清瀬市における地域づくりの現状と課題について、世論調査から見える現状と課題を事務局から説明した。

(8) 意見交換

・男性は退職後地域とのつながりがうすい。どのように引き込んでいくかが課題だ。

・地域のために何かやりたいと思っている人はたくさんいる。その気持ちをどのように活かしていくかが大事だ。

- ・やりたいと思う人とやりたいことのマッチングが大事だ。
- ・地域のために何かやりたいと思う人のコーディネートが必要だ。
- ・地域とのつながりがやりやすいのは福祉の分野だと思う。
- ・定年後の男性は、地域のルールの中に入っていくのがとまどいがある人も多くいるのでは。
- ・男性は地域活動に入るにあたり、何等かの後押しがあるとよいのでは。
- ・地域と地域活動をやりたいと考えている人をつなぐ役割を担う人が必要なのでは。そのような人を育成するということもできるとよいのでは。
- ・新しく建った家は、地域とのつながりができにくく、孤立化しやすい場合がある。
- ・世論調査を見ると、意外に地域活動を行っている人が多く嬉しく思った。
- ・地域活動を行いたい人の受け皿を作ることも必要だと思う。
- ・他自治体では、全世帯アンケートを実施し、その中で地域活動をしてもらいたいと思う人は連絡先を書いてもらうということをして地域人材の掘り起こしをした。
- ・国の調査によると、何か地域活動をしたいという人は10代が多い。若い世代の受け皿に国際交流などもよいのでは。
- ・けん玉事業は、市民まつりで発表したら参加者数が増えた。
- ・地域活動の受け皿が、入りにくい場合がある。オープンであるといい。

(9) その他

次回日程等について事務局より報告をして閉会となった。